

# みんなの南アルプス

発行 南アルプスを未来につなぐ会 電話 054-221-2963 (事務局)



林道東俣線沿いの紅葉（一般財団法人南アルプスみらい財団提供）

## 第6号発行

長い夏がようやく終わり、秋が訪れました。いつから秋が始まったと感じるかは、住んでいる場所や人によって違うと思いますが、年々夏の終わりが遅くなっていると、多くの人を感じているのではないのでしょうか。静岡の市街地では10月末でも半袖で過ごすことができました。一方、南アルプスの山岳地帯は既に積雪もあり、冬を迎えています。麓の地域では紅葉の見頃です。ぜひ足を運んで、短い秋の彩りを楽しんでください。

第6号では、これまで理事の皆様と協議を進めてきた「南アルプスが輝く未来デザイン」について、会員の皆様からの御意見を募集します。皆様の御意見をお待ちしております。さらに、新聞等でも取り上げられて注目されている「大井川に沿う赤石山地・南アルプスのジオサイトガイド」についても紹介しています。「ジオサイトガイド」を携えて、大井川に沿った珍しい地形・地質のポイントを巡ってみてはいかがでしょうか。

# 「南アルプスが輝く未来デザイン」についての意見を募集します

## ～令和5年度第1回「南アルプスを未来につなぐ会」運営会議を開催～

南アルプスを未来につなぐ会は、令和3年の設立以降、南アルプスの自然環境を未来につないでいくことに貢献するため、会議を開催して南アルプスの魅力を高めるための取組等について理事の皆様から御意見を伺ったり、イベントを開催して一般の方に南アルプスの魅力を発信したりしています。

今年の9月28日には、令和5年度第1回運営会議を、東京都千代田区の都道府県会館にて開催しました。今回の運営会議では、静岡県に位置する南アルプスに関する構想である「南アルプスが輝く未来デザイン」(案)について、理事の皆様から御意見をいただきました。

### 《会員の皆様からの御意見を募集します》

これまで理事の皆様と協議を進めてきた「南アルプスが輝く未来デザイン」(案)ですが、いよいよ会員の皆様からも御意見を募集します。たくさんの御意見をお待ちしております。

#### ○意見募集期間

令和5年12月13日(水)まで

#### ○提出方法

下記に掲載のURLから原案をダウンロードしてください。御意見は、お名前、会員番号(分かる方のみで結構です)とともに、事務局宛にメールで送付してください。メールのタイトルには、『「南アルプスが輝く未来デザイン」(案)への意見』であることを明記してください。

原案掲載のURLはこちら

<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/shizenkankyo/1017645.html>

事務局メールアドレスはこちら

[shizenhogo@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:shizenhogo@pref.shizuoka.lg.jp)

### 「南アルプスが輝く未来デザイン」の概要

第1章 南アルプスの自然とそこから生まれる恩恵と魅力

第2章 南アルプスを次代につなぐ

第3章 南アルプスの現状と課題

第4章 輝く南アルプスの実現に向けて



概要

#### デザイン共通の考え

- 多くの人が未来デザインに共鳴・共感できるものであること
- 未来デザインには、指標等を設けず、柔軟性があること
- 中学生以上の多くの人々が理解できること
- 南アルプスへの興味を持ってもらうため、読みやすい形式とすること

3



### 「南アルプスが輝く未来デザイン」(案)イメージ



# ボランティアによる防鹿柵の整備が行われました

## ～お花畑を保全する活動を今年も実施しました～

南アルプスでは、ニホンジカの採食による影響で、貴重な高山植物のお花畑の衰退が深刻化しています。

県では、お花畑を保全するため、防鹿柵の整備を行っています。今年度も防鹿柵の設置や維持管理を、ボランティアの方々の協力を得て実施しました。

今回、その活動のいくつかをご紹介します。



防鹿柵で保全されたお花畑（聖平）

令和5年9月9～10日には、三伏峠小屋近くで、2箇所防鹿柵の修繕を行いました。県や南アルプスみらい財団等の主催者とともに、ボランティア18名が参加しました。

この2箇所防鹿柵は、登山道を挟んで対象の場所に位置しています。どちらも金網製の防鹿柵ですが、比較的緩傾斜な箇所設置した防鹿柵では損傷が少なく、シカを防ぐ効果を十分に発揮しているのに対し、比較的急傾斜な箇所設置した防鹿柵では積雪の影響等から柵に損傷が見られ、シカの侵入経路ができていました。

参加者は、ロープを用いて損傷箇所の修繕等を行いました。



参加者で協力して防鹿柵を修繕  
（三伏峠小屋近く）

令和5年9月29日～10月1日には、荒川小屋周辺で、防鹿柵の冬期一時撤去を行いました。ここでは、樹脂製の防鹿柵を設置しています。樹脂製の防鹿柵は金網製に比べて運搬や設置が簡易である一方、積雪に弱いため、この時期に一時撤去して来年の春に再び設置します。

県が設置した防鹿柵の近くには、環境省が設置している防鹿柵もあることから、環境省と県が合同で実施し、事業を受託する特種東海フォレスト、南アルプスみらい財団に加え、ボランティア14名が参加しました。

参加者は、雄大な景色が広がる南アルプスで楽しみながら作業していました。こららの取組を通じて、南アルプスの環境が保全されるとともに、南アルプスの魅力がより多くの人々に広がることを願っています。



積雪に備えて防鹿柵の一時撤去  
（荒川岳 環境省設置箇所）

# 「大井川に沿う赤石山地・南アルプスのジオサイトガイド」を作成しました

赤石山地や南アルプスは、日本列島の誕生に係る地形・地質遺産の一部となっており、世界的にも貴重な地形・地質を見ることができるジオサイトがあります。

過去には、NHKの「ブラタモリ#225「大井川～“越すに越されぬ大井川”は何を生んだ?～」(初回放送日:2023年1月14日)でも取り上げられました。

しかし、赤石山地や南アルプスの地形・地質について解説した書籍やパンフレットは限られていることから、具体的な観察ポイント等は、あまり知られていません。

そこでこの度、静岡県内の比較的アクセスしやすい場所を選んで「大井川に沿う赤石山地・南アルプスのジオサイトガイド」を作成し、静岡県のホームページで公開しました。

このジオサイトガイドの中では、大井川に沿ってみられる曲がりくねって上下が逆転した地層、断層付近の岩盤から噴き出す湧水、河原の石ころの特徴等を、カラー写真や地図等も用いながら解説しています。これをきっかけに、赤石山地や南アルプスへ興味関心をもっていただければ幸いです。

なお、ジオサイトを訪れる際は、学術的価値を踏まえて、周辺の自然環境の保全に配慮をお願いします。また、交通ルール・交通マナーを守るとともに、落石や滑落等にも注意が必要な場所では、ヘルメット等を着用し無理な行動は避けて、安全確保に努めてください。

## 大井川に沿う赤石山地・南アルプスのジオサイトガイド

静岡県ホームページで公開中！！

URLはこちら

<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/shizenkankyo/1056979.html>

### 大井川に沿う赤石山地・南アルプスのジオサイトガイド



大井川 (林道東俣線の滝見橋から撮影)

2023年9月



静岡県ホームページで公開中！！



神尾の横臥褶曲



明神湧水

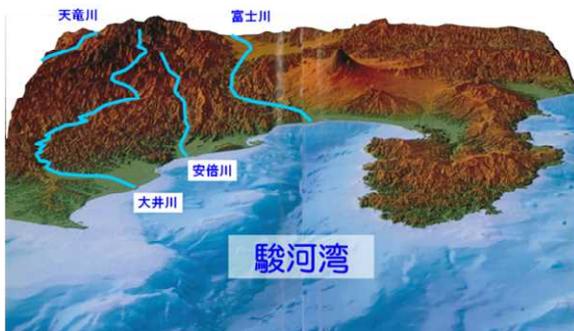
## シリーズ企画：南アルプス探訪

第2号から始めましたシリーズ『南アルプス探訪』。今回は日本列島と南アルプスの形成について御紹介しました。

第5回目となる今回は『南アルプスと駿河湾』についてです。

### テーマ：大井川上流域における地質と地形の成り立ち (第5回：南アルプスと駿河湾)

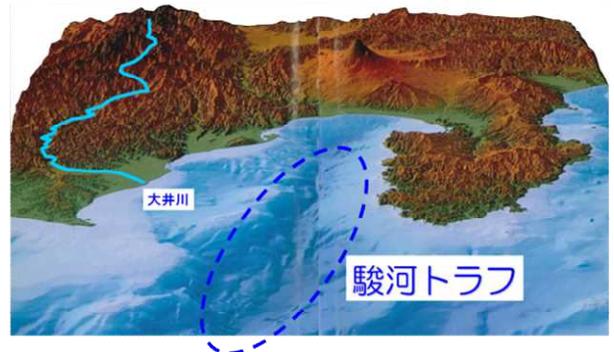
赤石山地



赤石山地に降った雨のほとんどは、大井川、安倍川、富士川、天竜川に集まります。

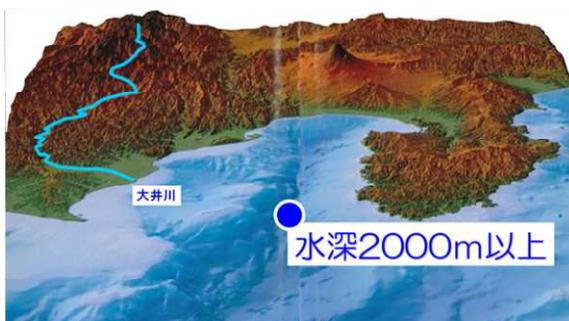
このうち大井川、安倍川、富士川の3河川が、駿河湾に流れ込みます。

赤石山脈



海側の駿河湾から赤石山脈を眺めると、60~70km離れて赤石山脈と駿河トラフが並走していることが分かります。

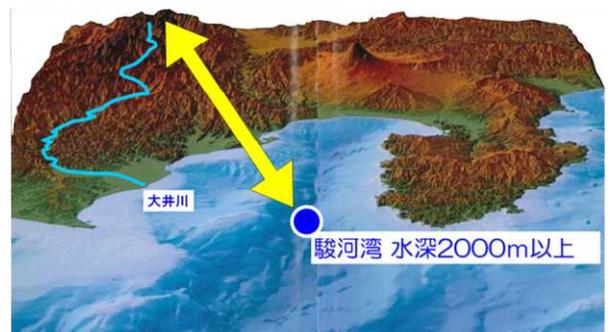
駿河湾の水深



駿河湾の深さは、御前崎沖や伊豆半島の石廊崎沖では水深2000m以上となります。駿河湾の最も深い所では水深2500mに達し、日本一深い湾です。

富山湾は最も深い所で水深1200m、東京湾は最も深い所で水深600mです。最も深い所で比較すると駿河湾は富山湾の約2倍、東京湾の約4倍の深さです。

駿河湾の海底—南アルプス  
起伏5000m級

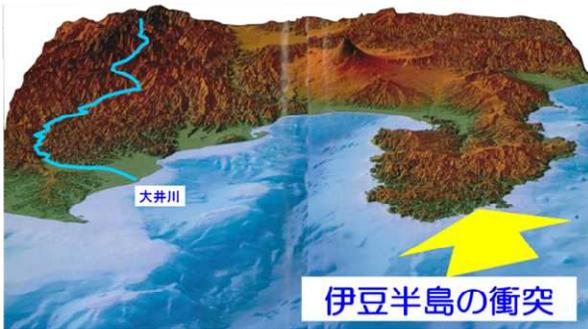


大井川上流域の南アルプスは3000m級の山々が連なるので、駿河湾の海底から南アルプスの高峰を見ると5000m程度の高度を持つことになります。

駿河湾の海底から南アルプスの水平距離と比べた高さは、地球上でもヒマラヤに匹敵するような最も起伏が激しい地域です。

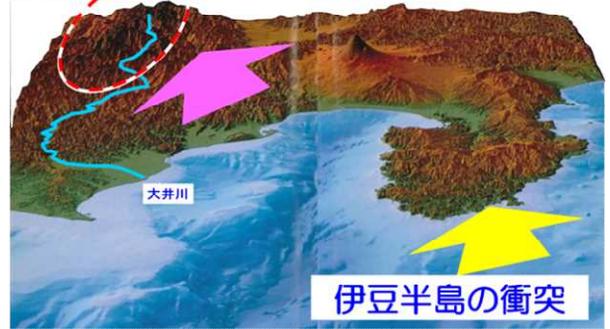
# シリーズ企画：南アルプス探訪

## 伊豆半島の衝突



赤石山地は、本州と伊豆半島が衝突する伊豆衝突帯に面し、現在も伊豆半島の衝突は進行中です。

## 赤石山地の隆起



そのため伊豆半島の衝突は、現在も赤石山地を激しく押し上げ、隆起を続けているのです。この点が赤石山地の最大の特徴となっています。

## 赤石山地の活発な隆起

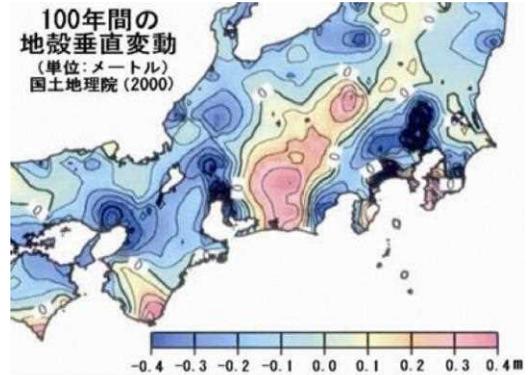


Google Earthでみた赤石山地の西方傾動地形

赤石山地は最近100万年間で広域的な隆起が活発になったと考えられます。

隆起速度が1年間当たり数mmとすれば、100万年間で標高3000m以上の山岳が形成された計算です。

## 南アルプス 世界最速レベルで隆起



最近100年間の水準測量の結果によると、赤石山地は日本で最も早く隆起しています。

南アルプスの主稜線部における隆起速度は年間4mm以上とされ、この隆起速度は世界的にも最速レベルです。

出典：南アルプス大井川上流域における地質と地形の成立ち（2020.12）

次回は『南アルプスの岩石』についてお伝えする予定です。

先日、ある高校の学校祭に出かけてきました。今年9月に実施した「南アルプス高山植物種子保存プロジェクト」の登山企画（第5号で紹介）に参加した田方農業高校の学校祭「田農祭」です。この仕事に関わるまで田方農業高校とは縁がなかったので、田農祭に行くのはもちろん初めてでしたが、いわゆる高校の学校祭・文化祭に足を運ぶこと自体、自分が高校生のとき以来だったので、どのような雰囲気だろうかと思いを巡らせながら向かいました。

最寄り駅に10時過ぎに到着して学校へ向かうと、朝一番で行って帰ってくる人たちとすれ違いました。その多くが、買い物袋に大根等の野菜を持っていました。生徒が収穫した採れたての野菜は人気で、朝9時に開場してすぐに行かないと手に入らないようです。

学校の敷地内に入る前から、周囲は大勢の客と生徒たちで活気に満ちていました。一般公開されているこの日は、誰でも行くことができます。生徒だけでなく地域の人々にとっても楽しみにしているお祭となっているようです。

敷地内では、生産物を販売する売店、飼育している動物とふれあえるコーナー、生徒が取り組んだ課題研究の発表展示等に分かれており、どれもこの日のために時間をかけて準備してきたことが感じられました。9月の登山企画に参加した生徒たちも、売店や展示の紹介等で活躍していました。

生徒が取り組んだ課題研究の発表展示は、体育館で行われていました。この展示では、生徒が設定したテーマについて研究した内容が模造紙等にまとめられていました。テーマは多岐にわたり、温泉を活用した野菜の栽培技術、昆虫食の生産効率、米粉を使用したパン作り等、近年社会的にも注目されているテーマがたくさんありました。「南アルプス高山植物種子保存プロジェクト」の取組内容についても紹介されていました。私が担当した企画が、生徒の成長につながっていると感じられて嬉しく思いました。担当の先生にお話を伺うと、これからの時代を生きていく生徒への教育は、自分たちで考えて課題解決していく授業がますます重要度を増しているということです。若い高校生の皆さんの、今後のますますの活躍に期待を感じた1日でした。



発表展示の様子

## YouTubeやSNSで南アルプスの魅力を発信中！

○YouTubeチャンネル「みんなの南アルプス」



○「南アルプスを守るお話」(YouTube)



○南アルプスを未来につなぐ会 各種SNS

Instagram



Twitter



Facebook



## 南アルプス環境保全基金

美しい南アルプスを未来につないでいくため、  
みなさまの御支援・御協力をお願いします！

### 県外企業はこちら 【企業向けふるさと納税】

- ①静岡県公式ホームページの  
サイト内検索で、  
「地方創生応援税制」と検索
- ②サイト内の寄附申出書を  
所定の提出先へ提出

こちらから  
簡単手続き！



### 県内企業はこちら 【一般寄附】

自然保護課まで  
お問い合わせください。

### 個人の方はこちら 【ふるさと納税】

- ①インターネットサイト「ふるさとチョイス」の  
「自治体を探す」で静岡県を選択
- ②自治体一覧から静岡県庁ページを選択
- ③寄附金の使い道で「南アルプスユネスコ  
エコパークの保全管理と魅力発信等」を選択

こちらから  
簡単手続き！



方法は  
3つ！

